

「Ryuichi Sakamoto | async 坂本龍一 | 設置音楽展」関連イベント

美術手帖 presents

坂本龍一の活動に見る”メディア・アート”の可能性

5月19日（金）20:00～21:30

出演：阿部一直（フリー・キュレーター）

松井茂（詩人 / 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 准教授）

牧信太郎（『美術手帖』コントリビューティング・エディター）

会場：オン・サンデーズ（ワタリウム美術館 B1）

参加費：1,000円（税込）

大反響『美術手帖 特集 坂本龍一』に寄稿の三者による、取材時のエピソードも交えたトークイベント。

1978年のデビュー以降、その多様な音楽活動だけに止まらずアート、思想、本、TV、舞台、などの分野を横断し様々なメディア技術と接点を持ちながら、表現の場を拡げ続ける坂本龍一。このトークでは、YCAMで坂本作品を積極的に紹介してきたキュレーターの阿部一直、今回の特集でインタビュアーを務めた詩人・松井茂、特集の担当編集者である牧信太郎各氏を招き『美術手帖』での特集制作の意図、ニューヨーク取材時の裏話とともに、坂本龍一の作品やその活動の中に見る「メディア・アート」の可能性についてお話し頂きます。



阿部一直

1960年長野市生まれ。フリー・キュレーター。東京芸術大学美術学部芸術学科卒業。1990～2001年キャノン株式会社「アートラボ」専任キュレーター。2003年より磯崎新設計になる山口情報芸術センター [YCAM] のチーフ・キュレーターおよびアーティストック・ディレクターとしてディレクション / 監修を担当。主な企画に坂本龍一 + 高谷史郎「LIFE - fluid, invisible, inaudible...」など。2014年～16年文化庁芸術選奨メディア芸術部門選考審査員。

松井茂

1975年東京生まれ。詩人。情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 准教授。詩集に『時の声』等。共編書に『虚像の時代 東野芳明美術批評選』、『日本の電子音楽 続 インタビュー編』共著書に『テレビ・ドキュメンタリーを創った人々』（NHK出版、2016年）等。キュレーションに「磯崎新 12×5=60」展（ワタリウム美術館）、「藤幡正樹 Expanded Animation Works」（恵比寿映像祭）等。

牧信太郎

1978年京都市生まれ。横浜国立大学経済学部卒業。編集者 / ライター / プロデューサー。『美術手帖』コントリビューティング・エディター。主にアートや現代写真の分野の仕事。担当特集号は「#photograph」「Rhizomatiks」「坂本龍一」など。過去には写真雑誌『IMA』や展覧会カタログなど。

定員 30名

予約申込：オン・サンデーズ

mail: onsundays@watarium.co.jp

tel: 03-3470-1424

MUSEUM SHOP
ON SUNDAYS